

子どもの知性をみがくには(1)

- まず親の知性をみがこう -

開倫塾

塾長 林 明夫

1. はじめに

子どもの知性をみがくには、その前提として、保護者の皆様の知性をみがく必要があります。そこで、今回は、「大人」の知性をみがき方を考えます。

2. 少しずつでもいいから知性をみがき続けよう

大人は毎日新聞を読もう。

) 新聞は前から、つまり、一面から順序よく、ゆっくり、丹念に読むと知性がみがけます。

特に、一面はゆっくり読んで下さい。一面の上の方だけではなく、「コラム」と呼ばれるコーナーは、その新聞社で最も感性が豊かで、筆が立つと言われる「論説委員」の方々が現代的な課題について執筆しています。コラムは「知性」をみがくには、毎日の読み物として最適です。

) 下野新聞の「平和塔」、サンケイ新聞の「サンケイ抄」、日本経済新聞の「春秋」、毎日新聞の「余録」、読売新聞の「編集手帳」、朝日新聞の「天声人語」など、各誌の第一級の執筆陣の文章が「コラム」と言えます。

) もしできれば、一面に続き二面、三面、四面と、国内政治・経済、国際政治・経済、文化、教育と、前のページから特集、社説、投書欄と、順番に読み進める「習慣」をおつけになることをおすすめします。同じ新聞を読むにも、うしろの TV 欄と社会面、マンガ、スポーツだけでおしまいという読み方と、一面からじっくり読むのとでは「知性」を身につけるといふ点からは、ずいぶん「効果」が異なるように思えます。

大人は、毎週一回は図書館に行こう。

) 図書館には、「図書」だけではなく、自分では購入しきれない「新聞」や「雑誌」、「VIDEO」や「カセットテープ」、「CD」、「コンピューター・ソフト」などが、市民の利用を待っています。優秀な「図書館司書」の方々もいらっしやう、いろいろな「調査」や「検索」のお手伝いをして下さいます。

) 週に一度は図書館に行き、読み足らなかった新聞や雑誌に目を通したり、好きな本、ビデオ、CDなどに接して「知性」をみがくことをおすすめします。

) 「貸し出し」制度も活用なされると、更に「知性」がみがかれます。

大人は、英字新聞やインターネットにもチャレンジしよう。

) 「日本語の新聞等でよくわかっている内容のことについてのみ、英字新聞の記事を読むこと」が、英字新聞に取り組むコツです。2～3日前の英字新聞が一番わかりやすいと言えます。

) 栃木県内では、英字新聞を個人で購読なさっている方は、1000名はいません。是非、その1000名の中に一日も早くお入りになり、一日1時間はよくわかった内容について英字新聞をお読みになることをおすすめします。

) 最近、インターネットで情報をおとりになる方もずいぶんふえました。興味のあることについてより深くお知りになりたい場合に、国の内外のホームページに直接アクセスなさることをおすすめします。必要なところは、プリントアウトすると、更にじっくりと取り組みます。

大人は難しい内容、事柄について議論（ディスカッション）しよう。

) 以上のような方法で、質の高い情報を入手した上で、難しい内容であっても親しい方々と楽しくディスカッションをすることをおすすめします。

) 大人になったのにいつまでも芸能人やスポーツ選手、天気の話ばかりでは、何かもの足りなさをお感じになるのではないのでしょうか。

) 人格批判抜きで、少し難しい内容であっても楽しくディスカッションすると知性がみがかれます。

3. おわりに

このような形で「大人」が自らの知性をみがき続ける姿を子どもたちが後から見るのが、子どもたちの知性をみがく上でとても役に立つと思います。今日からでもおためし下さい。